中此地名を改正する旨告示せり（ア、タ、）

◉**横濱港内海水温度**　明治三二年以來神奈川縣測候所は港内大棧橋中央に於て海水表層（水面下一丈乃至一丈九尺）及び海底（水面下一丈三尺）の水温觀測に從事し、既に六ケ年に充ちたるを以て、此程其成績を調査せる報告を發表されたり、六ケ年平均毎月の水温（毎日一回午前十時觀測）及び氣温（海岸地上約四尺に於ける平均）は左に

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月
海水（表層水温	七、二	六、九	九、三	一三、五	一七、四	二一、〇	二五、〇	二五、六	二六、八	
海水（深層水温	七、三	六、九	九、二	一三、二	一七、〇	二〇、二	二三、八	二五、四	二三、四	二六、六
氣温	三、九	四、六	八、〇	一三、〇	一六、九	二〇、八	二三、五	二五、六	二三、四	一六、七

最高は水温氣温共に八月にして氣温最低は一月、水温最低は二月なり、年平均は海面の海底より高きこと〇度三、月別にては六月に〇度七高く、一月のみは〇度一低し。海面水温と氣温の差は年平均に於て、水温の高きこと一度六。月別に於ては一二月に三度七高く、七月のみは〇度一低し。六ケ年間高程は八月にありて、海面は二九度七、海底は二九度二を示せり。之を同月の平均に比すれば前者は三度七高く、後者は三度八高し。又低極は一月にありて、海面は四度八、海底は四度七を示せしことあり。之を同月の平均に比すれば前者は二度四低く後者は二度六低し。今此等をツエンケルの研究せる海面公濕度に據りケヨッペン氏が更に得たる數に基き、當地方の海面公濕度を算するに、當地方は北緯三五度二六分五四秒なるを以て之れに對する公濕度は一六度三五を得、又ケヨッペンの調査に因れば當地方の如きは實際の海面濕度は一九度程にして、公濕度に對すれば三度許の高度にあるべき筈なれども、事實は全く然らず。當地海濕は却て海面公濕度と極て相近く僅少の低下なるを見るのみ、其實際海面濕度に比し三度以上の低ある如きは敢なくんばあらず。ケヨッペンの調査は廣大なる海面即ち外洋に於ける濕度なればなり（氣象集誌第二四年第五號（ア、タ、）（三八年五月二八日刊）

◉**隱岐國竹島の探驗**　同島は本年隱岐國に編入せられ、島根縣知事は部長島司及び有志者より組織せる一行五十名を引率して竹島探檢を計りぬ、隱岐滊船會社の第二隱岐丸は八月十日頃發程の途に就くべし（境町通信時事新報三八年七月十九日）（ワ、タ、）

◉**小笠原群島の氣候**　同群島には去る三四年夏期、初めて測候所を父島に建設し、爾來引き續きて觀測をなしつゝありしが、三五年一月より三七年十二月に至る三個年の觀測結果は此程氣象集誌（第二四年第六號）に於て岡田理學士に依り公にせらるゝ事となれり、其要に云く

小笠原島の氣象觀測に二種の必要あり、其一は北大平洋東部の氣候を知るに在り、其二は日本近海に起る颶風の進路及發生を知るに在り。夫れ本群島の氣候は温帶性よりも寧ろ半熱帶性にして一年間の平均氣温は二三度一分、最高の月は八月にして二六度四分、最低の月は一月にして一六度四分、氣温の年較差は一〇度なり。斯の如く極暑極寒兩月の温度の差の僅少なると均しく一日中の較差も一ケ年を通じて極めて少なく（約六度）なり。而して其絶對最高氣温は三三度〇分（三六年九月二一日）又其の最低は十度五分（三五年二月七日）即ち其差二五度五分なり。一年を通し氣温は氷點下に存したる事なく從て霜雪殆んどなし。夏期は降雨多く植物は椰子、羊齒類、鳳梨、榕樹、鉄木、橙橘及月桂樹等繁茂せり。本群島は東亞信風帶内に位し、北西風は十二月初より二月末まで絶えず吹送すと雖も、其東亞信風は七月初より十月末までなり。北西信風期間は海上風波高くして航海に不便なりと雖も五月より八月に至る三ケ月間は海上極めて平穩なり。年平均の氣壓中海面及重力更正を施したるものは七六一耗、三。最高は二月に七六四耗、四。最低は九月に七五七耗、五。故に年平均の差は實に七耗なり。

		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
氣壓		七六三・七	六四・四	六三・一	六二・八	六一・三	五九・六	五九・六	五九・七	五八・三	五七・五	五九・六	六二・五	六一・三
濕度		七〇	七四	七九	七六	八四	七九	七七	七五	七六	七一	六六	七五	
氣温	平均	一七・八	一六・四	一八・六	二〇・三	二二・八	二五・一	二六・四	二六・五	二四・九	二一・〇	二〇・〇	二一・一	
	最高	二〇・三	二〇・二	二二・三	二四・〇	二六・四	二八・七	三〇・〇	三〇・三	二九・七	二八・〇	二五・〇	二二・一	二五・五
	最低	一三・七	一三・五	一六・一	一七・四	二〇・六	二三・二	二四・二	二四・二	二四・二	二二・一	一九・二	一六・六	一九・六
	日差	六・六	六・七	六・二	六・六	五・八	五・五	五・八	六・一	五・五	五・九	五・八	六・五	五・九
氣温	絶對最高	二四・九	二三・三	二五・六	二七・三	三〇・五	三一・二	三二・〇	三二・三	三三・〇	三一・四	二八・七	二五・五	
	同　日	三六年ノ二四日	三六年ノ一四日	三五年ノ二四日	三七年ノ二七日	三五年ノ二九日	三五年ノ二九日	三六年ノ二五日	三六年ノ三日	三六年ノ二一日	三五年ノ二九日	三六年ノ七日	三六年ノ六日	
氣温	絶對最低	八・一	七・五	九・三	一〇・七	一三・一	一七・九	一九・八	二一・二	二一・〇	一九・四	一七・五	一四・五	一〇・二
	同　日	三七年ノ十日	三五年ノ十七日	三七年ノ二四日	三五年ノ八日	三六年ノ七日	三七年ノ二日	三七年ノ一七日	三七年ノ一七日	三五年ノ一六日	三七年ノ一七日	三七年ノ二七日	三七年ノ二七日	
降水量	總量	六四・〇	八〇・八	一〇七・一	三二・〇	八八・〇	一九三・〇							
	一日中最多	四〇・〇	三七・五	七〇・三	一九・八	四〇・五	五二・五	七〇・三	七〇・三	一九・八	四〇・五	五二・五	六六・六	七〇・三
	同　日	三五年ノ三一日	三七年ノ二八日	三七年ノ六日	三七年ノ二日	三五年ノ二日	三七年ノ二七日	三七年ノ一七日	三七年ノ一七日	三七年ノ六日	三七年ノ二七日	三七年ノ二七日	三七年ノ二七日	三七年ノ一七日
降雨日數		一一	一三	一一	一一	六	一〇	一四	九	一四	七	三	一三	一四七

降雨期は六月及九月にして乾燥期は四月及一月なり、全年降水量は一三八〇耗にして長時間に繼續する者は極めて稀なり、一日中の最多降水量は一九〇耗八（三七年十）之に次ぎ一二六耗（仝年九月四日）一二〇耗（三六年十月六日）にして一年間に於ける降雨日數は一四七日。最多は九月より十二月に起り、毎月平均十七日間にして、其最少は四月に起り僅に六日なりき

其他風向を示す表は三ケ年間平均を示さゞるを以て各年の分を左に掲く

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
三五年	北西	南	南西	南西	西	東	東	東	東	南東	西	
三六年	西	西	北東	南南西	南西	南南西	南西	東	北東	西、北		
三七年	西	北	南	東	南	南	東	東	東	西		

注意　測候所の位置北緯二七度五分東經一四二度二分高度四米（田中）